

働く人になろう!

附属久里浜特別支援学校・小学部 教諭 柘植美文

本校では、全学年で「社会生活の指導」を行っています。年齢や学級集団の特性に応じて、校外に出掛けたり、公共交通機関を利用したり、お手伝いや働く活動を体験したりしています。自閉症のお子さんは、特に初めて行うことに関して、その行為の意味を丁寧に伝えることで、自分なりの見通しをもって生き生きと活動に取り組むことができます。幼稚部段階から社会性を身に付ける機会を設けることで、自信をもって取り組めることが増えたと考えています。

今年度、5年生では、「働く人になろう!」を合い言葉に、マクドナルドでの職場体験や日産自動車工場の見学を計画しました。学習の中で、小さい頃はいっぱい遊んだことや小学生になると勉強が始まったこと、高校を卒業すると大人になることなど、子供たちが成長の過程について自分なりのイメージを持っていることが分かりました。知っている仕事について、電車の運転手、警察官、店員など、たくさんの職種を答えることもできました。

マクドナルドでの職場体験に向けては、手洗いの方法や挨拶の仕方、ハンバーガーの作り方を学習しました。手順カードを確認しながら、手洗いをしたり接客の言葉を言ったりするなど、一生懸命に練習していました。当日は、緊張した表情でしたが、練習の成果を発揮して、大きな声で「いらっしゃいませ!」とお母さんに自分が作ったハンバーガーを売ることができました。

日産自動車工場の見学に向けては、最初に、働くことと給料がもらえることを知ったり、給料の使い道について考えたりする学習を行いました。「ポテトを買いたい!」「車を買いたい!」など、使い道を想像するだけでも楽しかったようです。また、教室に小さな「久里浜工場」を作り、ライン作業の疑似体験をしました。ティッシュの空箱や豆腐のパック、ペットボトルの蓋を利用した自動車の製作でしたが、どの子ども真剣に取り組みました。作業開始のチャイムが鳴ると、担当する工程に戻る様子はとても頼もしく見えました。学習の最後には、自分たちが作った自動車を検品し、丁寧に作ることや協力して作ることを改めて確認しました。

これらの学習に向かう真剣な表情や笑顔から、「働くって大変だけど楽しそう!」「将来、自分も働く人になりたい!」という気持ちの芽生えを感じています。店員や電車の運転手、宇宙飛行士への憧れなど、子供たちの夢は広がっています。来年度は、一般のお客さんとやりとりをするような職場体験に挑戦

できたらと、教員の夢も膨らんでいます。日々の学習の一つ一つが、「将来働く人になるための自分づくり」であると考え、御家庭と協力して子供たちを育てていきたいと考えています。



車のペイント工程



手洗いの練習